

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖生理学Ⅵ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部1年	学期	後期	教室名	803
担 当 教 員	孫 明洲				
実務経験と その関連資格	1986年医科大学卒、医学学士、医師(中国) 2001年神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了、学術博士 2003年より21年間続き、医療系基礎医学の講師として、看護学科・理学療法士学科・作業療法士学科・視能訓練士学科・言語聴覚士学科などの生理学・解剖生理学・臨床医学など科目を担当した。 日本生理学会会員 「早わかり生理学ハンドブック」(ナツメ社)を単独で執筆した。				
《授業科目における学習内容》					
1、解剖生理学Ⅵの授業として「泌尿器系」、「血液」、「栄養代謝」、「体温」、「生殖と成長・老化」など内容から構成され、特に血液機能を重点として展開する。 2、医療を学ぶ上で基本的な人体の機能的な構造とその働きを理解し、また臨床でよく見られる病態の内容も取り入れる。					
《成績評価の方法と基準》					
◎評価内容:①学期末試験1回(満点100点)、②小テスト4回(満点100点) (③口頭試問、④授業態度) ◎評価方法:成績評価(満点100点)＝①期末試験成績×80%+②小テスト平均成績×20%+(③④を考慮に入れる)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
ナツメ社「早わかり生理学ハンドブック」、医学書院「生理学」					
《授業外における学習方法》					
①授業の前に予定授業内容を教材で調べる。②授業後に授業内容を教材で確認する。③配布される練習問題や国会試験過去問などを練習する。④正答出来なかった小テスト内容に強化勉強する。⑤分からない部分がありましたら、担当先生に聞き、またはクラスメイトと討論する。					
《履修に当たっての留意点》					
1、「はい」、「うん」よりもまず自分らしいイメージを作って見ましょう。2、知識は楽にして身に付きませんが、増えれば増えるほど勉強が楽しくなります。3、病態や臨床については、十分な解剖生理学の知識がなければ進めません。自分自身で選んだ目標を目指して頑張れ！					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	ネフロンの構造と尿生成の仕組みを説明できる。	「生理学ハンドブック」第10章、「シンプル生理学」第17章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。	
	各コマにおける授業予定	【泌尿器系の機能①】——泌尿器系の機能構成、糸球体濾過			
第2回	授業を通じての到達目標	尿を作るための再吸収と分泌を述べる。	「生理学ハンドブック」第10章、「シンプル生理学」第17章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。	
	各コマにおける授業予定	【泌尿器系の機能②】——尿細管における再吸収、細管における分泌			
第3回	授業を通じての到達目標	畜尿と排尿反射の仕組みを説明できる。	「生理学ハンドブック」第10章、「シンプル生理学」第17章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。 小テスト①ための復習。	
	各コマにおける授業予定	【泌尿器系の機能③】——排尿反射 【泌尿器系の復習】			
第4回	授業を通じての到達目標	血液の組成と血液の主な生理機能を述べる。	「生理学ハンドブック」第11章、「シンプル生理学」第14章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。 正答出来なかった小テスト内容に強化勉強する。	
	各コマにおける授業予定	【小テスト①】——泌尿器系 【血液の機能①】——血液の構成及び一般機能(1)			
第5回	授業を通じての到達目標	血漿の組成と血漿の主な生理機能を述べる。	「生理学ハンドブック」第11章、「シンプル生理学」第14章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。	
	各コマにおける授業予定	【血液の機能②】——血液の構成及び一般機能(2)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	血球の組成と血球の主な生理機能を述べる。	「生理学ハンドブック」第11章、「シンプル生理学」第14章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。
	各コマにおける授業予定	【血液の機能③】——血液の構成及び一般機能(3)		
第7回	授業を通じての到達目標	生体免疫機能の仕組みを説明できる。	「生理学ハンドブック」第11章、「シンプル生理学」第14章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。
	各コマにおける授業予定	【血液の機能④】——免疫機能及び免疫異常		
第8回	授業を通じての到達目標	血液型の由来や血液凝固の仕組みを説明できる。	「生理学ハンドブック」第11章、「シンプル生理学」第14章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。 小テスト②ための復習。
	各コマにおける授業予定	【血液の機能⑤】——血液型、血液の凝固 【血液の復習】		
第9回	授業を通じての到達目標	栄養素の正確摂取を理解しながら説明できる。	「生理学ハンドブック」第12章、「シンプル生理学」第12章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。 正答出来なかった小テスト内容に強化勉強する。
	各コマにおける授業予定	【小テスト②】——血液 【栄養と代謝①】——栄養と栄養素、栄養所要量		
第10回	授業を通じての到達目標	生体内代謝を理解しながら説明できる。	「生理学ハンドブック」第12章、「シンプル生理学」第12章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。
	各コマにおける授業予定	【栄養と代謝②】——代謝、中間代謝		
第11回	授業を通じての到達目標	生体内エネルギー代謝を理解しながら説明できる。	「生理学ハンドブック」第12章、「シンプル生理学」第12章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。 小テスト③ための復習。
	各コマにおける授業予定	【栄養と代謝③】——エネルギー代謝 【栄養代謝の復習】		
第12回	授業を通じての到達目標	熱産生と熱放散の仕組みを述べる。	「生理学ハンドブック」第13章、「シンプル生理学」第19章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。 正答出来なかった小テスト内容に強化勉強する。
	各コマにおける授業予定	【小テスト③】——栄養代謝 【体温とその調節①】——体温の生理的変動、熱の産生と熱の放散		
第13回	授業を通じての到達目標	体温調節の仕組みを説明できる。	「生理学ハンドブック」第13章、「シンプル生理学」第19章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。 小テスト④ための復習。
	各コマにおける授業予定	【体温とその調節②】——体温の調節と体温の異常 【体温の復習】		
第14回	授業を通じての到達目標	生殖機能の特徴を説明できる。	「生理学ハンドブック」第14章、「シンプル生理学」第11章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。 正答出来なかった小テスト内容に強化勉強する。
	各コマにおける授業予定	【小テスト④】——体温 【生殖と成長・老化①】——男性と女性の生殖機能		
第15回	授業を通じての到達目標	身体加齢変化の特徴を理解しながら説明できる。	「生理学ハンドブック」第14章、「シンプル生理学」第11章	今まですべての正答出来なかった小テスト内容に強化勉強する。
	各コマにおける授業予定	【生殖と成長・老化②】——身体加齢変化、老化とアンチエイジング 【解剖生理学Ⅷの総復習】		